

足のむくみがある方

足のむくみ（浮腫）は、さまざまな理由でおこってきます。原因が見つけれないこともありますし、心臓、腎臓、肝臓、甲状腺などの病気が原因になることもあります。気をつけなければいけないのは、静脈の血栓閉塞が原因の場合です。

「**深部静脈血栓症**」と言い、下肢の静脈が血栓（血液の凝固した状態）で詰まった状態です。この血栓が、静脈血流にのって肺動脈を閉塞すると、肺血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）になり、生命の危険を生じる事があります。最近では、深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症は連続した病態で、両者を合わせ「**静脈血栓塞栓症(VTE)**」と呼び、突然死をきたしうる疾患として注意を喚起しています。

診断には、血液検査、エコーなどが手掛かりになりますが、画像診断としては造影CTが有用です。造影CTでは、下肢静脈の血栓だけでなく、肺動脈の血栓も同時にわかることが多く、現在、診断の中心となっています。

治療は、抗凝固療法と言って、血液を固まりにくくする治療が第一選択です。重症度によっては、さらなる治療が必要にもなります。慢性期には、ワーファリンという抗凝固薬を継続する必要も出てきます。また、慢性期に下肢静脈高血圧の病態も出てくるため、深部静脈血栓症に対しての適切な治療がなされるべきと言われています。是非ご相談ください。

足のむくむ疾患には、「**リンパ浮腫**」もあります。婦人科の術後など二次性の場合もありますが、原因がわからない一次性の場合もあります。静脈性浮腫や低タンパク性浮腫との鑑別が必要になることも多いです。

治療は、①マッサージによるリンパドレナージ、②弾性ストッキングなどによる圧迫、③圧迫下の運動、④患肢の清潔の4本柱からなる複合的理学療法が薦められています。このなかでも、弾性ストッキングは重要で、できるだけ強い圧迫圧のものが必要となります。お気軽にご相談ください